

ケミゾール2602 使用説明書

ケミゾール2602(略称:CS2602)は、光学反射防止塗料、及び接合材の接着はく離に使用します。

特徴

- ・光学反射防止塗料(黒塗り)のGT-7Ⅱ、エポラ、オリジン等のはく離に対応しています。
- ・ポリウレタン、エポキシ系や、電着塗料等のはく離にも使用可能です。
- ・接合材のUVアクリル系接着剤への浸透性に優れています。
- ・含有溶剤は高沸点であり、蒸発ロスが少なく、処理液を正しく管理すると長期に使用可能です。
- ・アルミニウム合金、ステンレスやガラス等は腐食しません。

組成及び性状

ケミゾール2602は、ベンジルアルコール等含有したはく離剤です。

外 観：無色透明液体

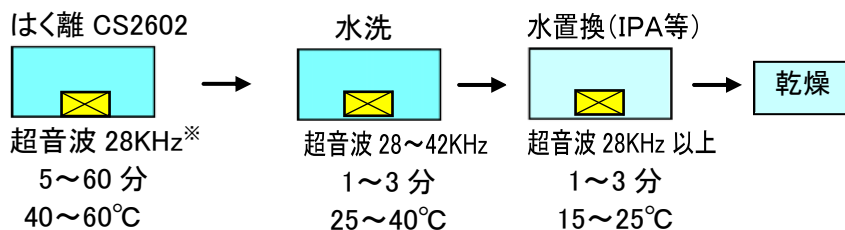
比 重：1.05～1.07 (at 25℃)

p H：(参考値※)約7(at 25℃)※pHは含水量が少なく不安定の為、参考値です。

引火点：なし

使用方法

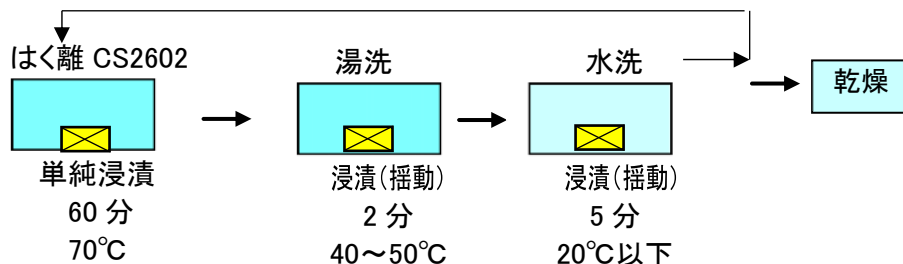
【反射防止塗料(GT-7Ⅱ、エポラ、オリジン等)のはく離】



条件設定に使用した超音波設備 MEGAパワー〔日本アレックス株製〕

反射防止塗料(GT-7Ⅱ、エポラ、オリジン)のはく離は、塗膜厚さや硬化状態、及び素地の凹凸状態ではく離条件が異なりますが、MEGAパワーを使用しますと比較的に短時間ではく離が可能です。

【接合素子硝材のはく離】



上記工程を数回繰返しますと、接合材の接着剤へ薬剤が浸透します。

浸透後に接合をずらし、はく離状態を確認します。浸透しない場合、はく離工程と湯洗工程の温度差を広げて処理を行います。

上記条件ではく離できない場合、弊社へご相談ください。

<共通>

〔管理方法〕

有栓メスシリンダー(200ml)に、水とCS2602処理液を各100mlずつ入れます。
密栓をして、30回振とうした後、15分以上放置して、分離した上部層の液量を測定します。
次の計算式により、CS2602処理液の水分(%)を算出します。

$$\text{計算式 水分(\%)} = 5 \times \text{液量(ml)} - 530 \quad (\text{標準:126ml})$$

〔補給〕

通常、液持出しによる液面低下分は、CS2602を補給します。
処理液の水分が少ない場合、水を補給します。

$$\text{計算式 水補給量(L)} = [1 - \text{水分(\%)} / 100] \times 0.18 \times \text{タンク容量(L)}$$

〔定期清掃〕処理液の寿命を延ばす為に、定期的にタンク内のはく離した塗膜を取り除き掃除をします。

〔槽材質〕 ステンレス(SUS304, 316)製、若しくは、ポリプロピレンやポリエチレン製

〔設置場所〕熱源の近くや直射日光の当たる場所を避けて設置します。

〔更新時期〕CS2602の水分量が100%であってもはく離時間が通常の数倍延長している場合や、
はく離処理後にシミ等が付着する場合については、更新してください。

適用を受ける主な法規制 (詳細 SDS 参照)

水質汚濁防止法(排水となった場合)

pH、BOD、COD、n-ヘキサン抽出物質、浮遊物質(SS)

(参考値 : CS2602 1g/L希釈液 BOD 400mg/L, COD 1.100mg/L , n-ヘキ 1mg/L 未満)
尚、処理液の廃棄処置については廃棄物専門業者にご相談ください。

注意事項

ケミゾール2602は、工業薬品です。

使用前に安全データシート(SDS)を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

荷姿

18kg 入りハイクオリティー缶(UNポリ容器)

以上